



公益財団法人 友愛

2022 年度  
事業報告

## I はじめに

### （設立）

一般財団法人友愛は、昭和 28 年（1953 年）に結成された友愛青年同志会を母体とし、昭和 34 年（1959 年）に財団法人日本友愛青年協会（所管文部省）として設立された。平成 23 年（2011 年）4 月に一般財団法人へ組織変更し、また日本友愛協会と名称を変更して公益事業を継続。平成 29 年（2017 年）12 月 22 日付で、名称を一般財団法人友愛に変更した。そして、平成 31 年（2019 年）3 月 28 日公益財団法人として認定される。

### （目的）

この法人は、自立と共生の友愛の理念の下に、国内外の青年や社会人の交流を深め、友愛の理念を次世代に継承、発展させる人材を育成し、もって世界平和に資することを目的とする。（定款より）

## Ⅱ 概況

### 総括

2022 年度の友愛の活動を総称して言えば、復活の年であり、再編成の年でもあった。

新型コロナの影響が世界各地で下火になって来て、日本もそれに準じて諸々の制約が緩和されつつあった。

これを機に、オーストリア OEJAB の事業を再開させるべく、OEJAB との情報交換を行い、せつかく選考されていながら 2020 年度、2021 年度と実施できなかった派遣員の派遣の再開を目指した。同時に、本年度（2022 年度）の派遣員も多く参加希望者の中から選ばれており、三年分の派遣員を一気に派遣することを目指して活動した。この結果、OEJAB の全面的な協力を得て、第一陣、第二陣と二度にわり、希望者全員の派遣を実施することができた。加えて OEJAB から要人二名が来日し、今後の友愛との関係を前向きに検討することとなるなど、有意義な話し合いの機会を持つことができた。彼らは、広島訪問を中心に平和の重要性を再確認し、これからの若者に向けて平和についての問題提起を積極的に行いたいという友愛との共通概念を確認することもできた。これらは正に、二年間途絶えていた事業の復活と言うばかりでなく、更なる発展が期待できる大いなる復活と言えよう。

一方、中国との間で行ってきた友愛国際写真コンクール及び、友愛小論文コンテストについていえば、中国政府の方針が順位を付けての表彰を是としない方向に進んでおり、実施を断念せざるを得ないのが実情であった。そんな中ではあったが、友愛小論文コンテストを実施すべく、在北京の大学（北京外国語大学・北京科技大学）と交流会開催に向けて準備を進めていたが、実施にあたり、複雑で厳重な許可を要することが分かり、準備は進めているものの本年度内には実施できなかった。また、ミャンマー農業指導者育成事業についても、ミャンマーの国情が大きく変化した現在、農業指導者の日本での研修の可能性など、共通の情報交換が難しい現状にある。そんな中、東京農工大学のご協力を得て、何とか我々が目指していた方向に進められる可能性が見えてきた。

こうしたことを総合して、公益財団法人友愛として、今後どのように事業の展開、財団としての活動を進めて行くべきか、創立 70 周年を来年度に控えた今、事業の再編成も視野に入れて前進するときであると思う。

### Ⅲ 公益事業実施報告

#### 1、国際交流事業

（定款 第 4 条 第 1 項 第(1)号に基づく事業）

##### (1)OEJAB 派遣

###### 事業概要

国際相互理解促進のための交流を実践する事業である。人材育成及び支援事業として友愛派遣員等の交流を通じて、相互理解、相互尊重、相互扶助を両国の若者が実践する機会を与える。具体的には、永年協力関係にあり、協力協定を結んでいるエヤップ（OEJAB／オーストリア勤労青年連盟）と協力し相互交流の機会を設ける。＊文中敬称略

###### 事業実施

###### ① 2022年度派遣員募集

▶ポスター郵送 2022年 6月 6日（月）  
全国国公立大学及び都内近郊私立大学41校へ  
掲示等による学生への周知を依頼

▶応募締め切り 2022年 9月30日（金）

###### ② 選考委員会選考

▶応募者人数 39名

▶提出書類【申込書（写真貼付）、教授の推薦状（書式自由）、参加希望動機・自己紹介文（書式自由、800字以内）、自己紹介動画（1分以内）】

上記提出書類及び動画を以って、選考委員が採点した上で、下記のとおり選考委員会を開催、協議の上、下記記載の6名（2022年度は男2名、女4名）を派遣員候補として理事会に諮問する。

###### 選考委員会概要

日時 2022年11月 1日（火）18:00～19:30  
場所 友愛サロン



ポスター

出席者	谷藤悦史	早稲田大学名誉教授
	☆戸澤英典	東北大学教授
	☆田中正基	京都府立洛水高等学校教諭
	星田 寛	公益財団法人 公益法人協会 相談員
	西川伸起	公益財団法人友愛 理事OEJAB 受入・派遣事業担当
	羽中田元美	公益財団法人友愛 事務局長

注) ☆は Web オンライン参加

### 2022年度派遣員候補（応募時）

藤田 脩椰	東北大学	4年	男性
田内 和久ラザルス	名古屋大学	4年	男性
弟子丸 香歩	東京医科歯科大学	3年	女性
女鹿 笑奈	東北大学	4年	女性
堆 美優	東京大学	2年	女性
ニケライ バッヘナーゼ	東京外国語大学	4年	女性

### ③ 理事会決定

選考委員会の諮問を受け、第 25 回 理事会（2022 年 11 月 11 日）において、選考委員会の推薦どおり 2022 年度の派遣員として決定した。

▶派遣人数 男子学生 2 名，女子学生 4 名 決定

2022 年 11 月 11 日付で選考結果を下記の各位に郵送した。

惜しくも選ばれなかった者へは、鳩山由紀夫理事長直筆手紙の複写に、ひとりひとりの名前を理事長自らが書き入れ郵送した。

◆応募者本人 全員

◆推薦教授・教諭 全員

### ④ 2022年度派遣員のオーストリアへの派遣実施について

新型コロナウイルスの影響が下火になり、世界各国での行き来が可能になったことで、2022 年度は、これまで選考されていながら派遣を実施できなかった人員を全て派遣する方向で検討を進め、2022 年 9 月時、及び 2023 年 3 月時の二回に分けて派遣することとした。

第一陣、第二陣への参加は、本人の意向を最優先して決定した。

2022 年度に選考された人員は、2023 年 3 月の第二陣と同時期に派遣することとなった。

第一陣は、5 名と少人数であったが、第二陣は 12 名と、かなりの大人数での構成となり、OEJAB とは連絡を密にとり、対応をお願いした。

派遣員のレポートからも解るとおり、OEJAB は、非常にきめ細やかな対応で第

一陣、第二陣を迎え入れてくださったことを報告しておきたい。

第一陣2022年9月6日～9月16日(計5名)【年齢は派遣時】

派遣員	浦 彩人	(2020年度派遣員)	男	23歳
	舘 宏輔	(2020年度派遣員)	男	23歳
	手塚 七彩	(2020年度派遣員)	女	24歳
	計良 衛	(2021年度派遣員)	男	23歳
	鈴木 健太	(2021年度派遣員)	男	24歳

同行理事 西川 伸起(オーストリア派遣事業担当理事)

第二陣2023年3月17日～3月26日(計12名)【年齢は派遣時】

派遣員	小倉 佑太	(2020年度派遣員)	男	25歳
	龍 舞香	(2020年度派遣員)	女	24歳
	田島 桃子	(2020年度派遣員)	女	23歳
	北島 貴央	(2021年度派遣員)	男	24歳
	奥山 千波	(2021年度派遣員)	女	23歳
	佐野 翔子	(2021年度派遣員)	女	25歳
	藤田 脩椰	(2022年度派遣員)	男	22歳
	田内和久ラザルス	(2022年度派遣員)	男	21歳
	弟子丸香歩	(2022年度派遣員)	女	21歳
	女鹿 笑奈	(2022年度派遣員)	女	22歳
	堆 美優	(2022年度派遣員)	女	21歳
	ニクライバツハナーゼ	(2022年度派遣員)	女	23歳

後藤穂乃実(2021年度派遣員)女 21歳については、  
体調不良のため、参加を辞退した

## ⑤ 派遣前 事前研修会

派遣時期が見通せない状況ではあったが、下記の通り2022年度派遣員向けに事前勉強会を開催した。

### 第1部：友愛の歴史を学ぶ

2022年12月17日(土) 午後13:00～15:00

於：友愛サロン

▶講師

- ・東北大学 戸澤英典教授  
「クーデンホーフ=カレルギーの劇的な生涯と後世への影響」
- ・西川伸起(公益財団法人友愛 理事 OEJAB 受入・派遣事業担当)  
「友愛の歴史」



▶参加者

- ・鳩山由紀夫(公益財団法人友愛 理事長)
- ・井田 安信(公益財団法人友愛 理事 ミャンマー農業研修生受入事業担当)
- ・河口ハルトマンミヒャエラ(公益財団法人友愛 通訳)
- ・後藤大智(2019年度友愛派遣員)
- ・小倉佑太(2020年度友愛派遣員)



第2部:「友愛という考え方と世の中の現状について」を学ぶ

2022年12月17日(土) 午後15:00~16:00

於:友愛サロン

▶講師:鳩山由紀夫理事長

▶参加者

- ・戸澤英典(東北大学教授 公益財団法人友愛 評議員)
- ・西川伸起(公益財団法人友愛 理事 OEJAB 受入・派遣事業担当)
- ・井田安信(公益財団法人友愛 理事 ミャンマー農業研修生受入事業担当)
- ・河口ハルトマンミヒャエラ(公益財団法人友愛 通訳)
- ・林有里紗(2017年度友愛派遣員)
- ・後藤大智(2019年度友愛派遣員)
- ・木本康瑛(2019年度友愛派遣員)

- ・吉田大志(2019年度友愛派遣員)
- ・浦 彩人(2020年度友愛派遣員)
- ・田島桃子(2020年度友愛派遣員)
- ・龍 舞香(2020年度友愛派遣員)
- ・計良 衛(2021年度友愛派遣員)
- ・鈴木健太(2021年度友愛派遣員)



### 第3部:「私にとって友愛とは」を学ぶ

2022年12月18日(日) 午前10:00~12:00

於:友愛サロン

▶講師:谷藤悦史 早稲田大学名誉教授(公益財団法人友愛 評議員)

「時代の変遷に於ける友愛理念について」

他関係出席者

- 西川伸起(公益財団法人友愛 理事 OEJAB 受入・派遣事業担当)
- 井田安信(公益財団法人友愛 理事 ミャンマー農業研修生受入事業担当)
- 戸澤英典(東北大学教授 公益財団法人友愛 評議員)
- 羽中田元美(公益財団法人友愛 事務局長)
- 吉田大志(2019年度友愛派遣員)
- 森崎桃子(2019年度友愛派遣員)
- 計良 衛(2021年度友愛派遣員)



### 第4部:鳩山会館見学

2022年12月18日(日) 午後14:00~15:00

引率者:西川伸起(公益財団法人友愛 理事 OEJAB 受入・派遣事業担当)

戸澤英典(東北大学教授 公益財団法人友愛 評議員)

羽中田元美(公益財団法人友愛 事務局長)

吉田大志(2019年度友愛派遣員)

森崎桃子(2019年度友愛派遣員)

計良 衛(2021年度友愛派遣員)





## (2)OEJAB 受入

### 事業概要

OEJAB が推薦する若干名の若者を受入、日本についての研修、平和理解のための広島市視察などを実施。戦争の傷跡を有する日本とオーストリアの若者で、世界平和に向けての新たな思いの形成につなげる。また、両国の若者の交流は、相互理解の基礎となる。世界平和を目指す若者の育成は、本財団の要となる理念を实践する事業である。

### 事業実施

来日期間／2022年9月22日～10月3日（12日間）

2022年度は次年度よりの継続的な事業実施のため、OEJABの運営責任者2名が来日し、実施内容の見学、確認と共に、当財団との話し合いの機会をもった。ディーター・フレリッヒ（第二経営責任者）ゲオルグ・ガーク（学生寮等統括責任者）

9月26日（月）

友愛サロンでの意見交換会

今後の友愛との協力についての話し合いがもたれた。

現在友愛が実施しているOEJABへの派遣に呼応するかたちで、OEJABからも若干名の若者を日本へ派遣し、友愛について、平和について学ぶプロジェクトを实践していく方向で、話し合いは進んだ。



友愛とOEJABの今後について、活発な議論が行われた。



全員揃って記念撮影

9月26日（月）

東京ドームホテルにて懇親食事会

友愛が贈った寄付に対しての御礼の意が込められた、OEJABの運営する難民教育施設の方々の写真とそれぞれのサインが記された記念制作本をいただいた。

（OEJABは2021年10月に創立75周年を迎えている。鳩山由紀夫理事

長はこのとき祝辞（ビデオ録画）を撮影し、OEJAB に贈っている。OEJAB では、自身のホームページ上にこれを公開し、友愛との関連を報告している。）



友愛サロンに設えた茶室で、来日のお二人をおもてなした。ユニオンのメンバーも参加して、日本文化を学ぶお茶会となった



お礼にと遠くウィーンから持ってきてくださった額を拝受した井上和子理事(左)と鳩山由紀夫理事長

・東京にて

大相撲見物、歌舞伎鑑賞、友愛サロンにて茶会、鳩山会館見学

森本真治参議院議員（鳩山友愛塾第一期修了生）、青山大人衆議院議員（鳩山友愛塾第一期修了生）のご協力を得て、国会で岸田総理の所信表明演説を傍聴  
赤坂迎賓館見学

・京都にて

平等院・金閣寺など見学

・広島にて

広島市庁舎で松井一實市長と面談

平和記念資料館を滝川卓男館長のご案内で見学

平和記念公園で慰霊碑に献花



鳩山会館庭園で記念撮影。庭の池の鯉、ロシアから贈られた一郎先生の銅像など興味は尽きない様子だった



京都宇治平等院にて同行してくださった田中正基さん（左端）戸澤英典さん（左から二人目）と一緒に。どこも熱心に見学された



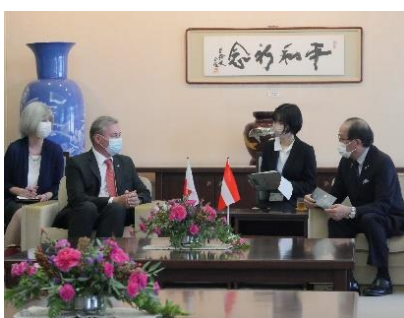
鳩山由紀夫理事長の説明で鳩山会館を見学。鳩山一郎先生の歴史について熱心に見学



平和記念公園で、慰霊碑に花輪を捧げた。花輪にはOEJABのロゴマークを入れ、二人はOEJAB全員の思いを代表して献花



広島市のご協力を得て、松井一實市長との面談が叶った。友愛からは西川伸起理事・田中正基評議員・木本康瑛さん(友愛ユニオンメンバー)が同席させて頂いた



松井広島市長から平和活動についてお話を伺った。平和の大切さを知るオーストリアの国民も同様に思っていますと真摯に答えていた



森本真治参議院議員・青山大人衆議院議員のお力添えで、国会議事堂など見学。友愛会員牧義夫衆議院議員も駆けつけてくださった

### (3)ミャンマー農業発展支援・農業指導者育成事業

#### 事業概要

貧困の解消は、世界平和の基盤であり、ミャンマーも例外ではない。経済基盤を農業に求めているミャンマーに向けて、農業発展支援・農業指導者を育成するための事業である。アウンサンスーチー元国家顧問より依頼を受け、友愛の理念のもと、「全ビルマ学生連盟外交委員会日本」と「ミャンマーニューリーダーを育成する会」と協力し、NLD(国民民主連盟)等の協力を得、派遣された研修生等に、ミャンマー農業発展に資する指導者としての必要な研修及び農業発展技術習得の情報を与え、その活動を支援するものである。

事業の目的として次の内容を挙げている。

ミャンマーの主たる産業が農業であることから、農業に関する知識、技術を日本の文化や考え方、生活に触れながら学ぶ機会を設けること。

研修後は自国において、日本で学んだことを伝え実践するよう努める。  
研修を通して日本について理解してもらい、今後のミャンマーとの友好関係を  
緊密なものにする役割を担ってもらおう。  
同時に日本国内の若者に、アジアの他国の実情を知る機会ともなり、相互理解  
の推進につながる。

### 事業実施

新型コロナウイルスの感染拡大・ミャンマーの国内事情など、事業実施において  
往来が妨げられる事態が続いており、2022 年度も国内でできることを中心に実  
施、事業継続を目指した。

#### 1) 「堆肥を作ろう！ …簡単・安い・安全な肥料…」(仮題) 作成に向けて

7年間の農業指導者支援育成事業を通じて、経済活動につながるような(質・量)  
農作物を生産するには、土壌改良(施肥)の必要性があることを認識した。

これを受けて、2021 年度からは下記の方向性で活動を行っている。

(2022 年度事業としても同様に継続して実施する予定である)

- ①肥料を施すことの必要性を、農業従事者が強く認識するよう啓発していく。
  - ②肥料は、「安全・安価」な「堆肥」が好ましいことを知らせる(購入の必要がない)。
  - ③身近にある材料(鶏糞・糠・もみ殻・魚の廃棄物・藁・その他)を使って「堆肥」をつくる。
  - ④堆肥を使うことは、「有機野菜」として商品価値を高めることができる。
- ①～④をまとめて、解りやすい(ミャンマー語表記・イラストなど多用して)リーフレットを作成し、ミャンマーの農村地帯で配布する ⇒ 細々ではあるが、農作物の質・量を増やす一助となるべく、在日ミャンマーの方々と協力し、情報を得ながら進めていく。

南埜理事のご協力をいただき南埜理事の母校である東京農工大学の教授の皆さんにご相談させていただく機会を得て、その結果、貴重なご意見と現在でもミャンマーに渡航されて農業支援をされているキーマンのご紹介をいただき、この事業の今後の展望が見えてきた。

ミャンマーの現在の状況として、北部は戦乱が続いており日本人が渡航するには適していないこと、中部や南部であれば比較的世情も安定していることが判った。ミャンマーの土質は、大きく北部・中部・南部で特徴があり、その土地に適した肥料が有効であることを教えていただいた。

まだ計画の段階だが、東京農工大学藤井名誉教授の協力を得て、ミャンマーのイ

エジン農業大学の先生を日本に招聘し、日本でミャンマーの農業に必要な肥料や緑肥の勉強をしていただき、ミャンマーに帰ってそれを実践していただくことを検討している。

イエジン大学と協力して、ミャンマー各地域雑駁な土壌の性質（PH 値・成分構成など）の調査や、「緑肥農法」実施の検討（豆は「ムクナ豆」を検討）を進めていく。

農業の実践の場として、現地に「友愛ファーム」を設けて、現地で手に入る肥料（緑肥）を使った畑の土地づくりと作物の収穫を目指す。

現地とはスマートフォンを使いオンラインでのやり取りができるが、日本からも収穫時などには現地に赴き、現状把握と指導をしていく。

「友愛ファーム」拠点として、ミャンマーの近隣農家に農業の実践指導をしていくことを計画している。

### 打ち合わせ会実施

2022 年 6 月 20 日午後 6 時 30 分～

・ミヤットウーさん、ミョウさんの奥さんと本年度の友愛のミャンマー農業支援事業取組について説明を行い、人の行き来はできないものの、友愛のできる範囲で支援を続けていくことについて理解をいただいた。

・ミャンマーの現状について、苦しい状況を教えていただいた。

—出席者—

- ・ミヤットウーさん、ミョウさんの奥さん
- ・井田理事、羽中田事務局長

2022 年 10 月 12 日午前 9 時から 11 時 45 分

・南埜理事のご紹介で、理事の母校である国立東京農工大学の先生方とミャンマーの農業支援について、情報提供ならびに意見交換をさせていただいた。

・東南アジアから多くの学生や研修生を迎えている先生から東南アジアやミャンマーの農業の現状について教えていただき、堆肥についての考え方、現地のことをよくご存じの方を紹介いただくなど、有意義な情報をいただけた。

—出席者—

- ・千年先生、藤井先生、横森先生、加藤先生（国立東京農工大学）
- ・南埜理事、井田理事、羽中田事務局長

2022 年 11 月 27 日 10 時～

・国立東京農工大学の先生にご紹介をいただいた、JICA の仕事をされている吉田様に、現在のミャンマーの状況と邦人の渡航の可能性について教えていただ



いた。

・ミャンマーの農業について、ミャンマーの地域ごとの土壌や主な第一次産業の概要について教えていただいた。

—出席者—

- ・吉田様（zoom 会議）
- ・南埜理事、井田理事、羽中田事務局長

2022 年 12 月 15 日 15 時～

・国立東京農工大学の藤井先生とミャンマー農業支援について打ち合わせを行った。

・ミャンマーのイエジン農業大学の先生を日本に招聘し、日本でミャンマーの農業に必要な肥料や緑肥の勉強をしていただき、ミャンマーに帰ってそれを実践していただくことを提案いただいた。また、イエジン大学と協力して、ミャンマー各地域の雑駁な土壌の性質（PH 値・成分構成など）の調査や、「緑肥農法」実施の検討（豆は「ムクナ豆」を検討）を進めていきたいこと、農業の実践の場として、現地に「友愛ファーム」を設けて、現地で手に入る肥料（緑肥）を使った畑の土地づくりと作物の収穫を目指していくことを話し合った。

—出席者—

- ・藤井先生
- ・南埜理事、井田理事、羽中田事務局長

2023 年 1 月 9 日 11 時～

・ミャンマー農業支援事業として、現地から研修生を呼ぶことは困難であるが、大学の研究性としてイエジン大学の先生を日本に招聘し、日本でミャンマーの農業に必要な肥料や緑肥の勉強をしていただき、ミャンマーに帰ってそれを実践していただくことを 2023 年度の事業として進めていくことについて、ミヤットゥーさんと情報共有を行った。日本に招聘する人材について、引き続き検討を行うこととした。

—出席者—

- ・ミヤットゥーさん
- ・井田理事、羽中田事務局長

2023 年 4 月 9 日 11 時～

・日比谷公園にて、ミャンマーのイベント「東京ダジャン祭り 2023」が開催。友愛より理事と友愛ユニオン数名がミャンマーを応援するイベントに参加した。

—出席者—

- ・ミヤットウーさん、ミヨウさん
- ・西川理事、井田理事、攪上理事、小倉さん、北島さん（友愛ユニオン）

2023 年 4 月 16 日 10 時～

・日本でミャンマーの農業に必要な肥料や緑肥の勉強をしていただき、ミャンマーに帰ってそれを実践していただく研修生の人選について打ち合わせを行った。第一候補としてイエジン農業大学の先生を考え、事業として進めていくことについて、ミヤットウーさんの理解を得て進めることとなった。

—出席者—

- ・ミヤットウーさん
- ・井田理事

## 2、表彰事業

（定款 第 4 条 第 1 項 第(2)号に基づく事業）

### (1)友愛国際写真コンクール

#### 事業概要

言語を超えて訴える写真という媒体を通して、友愛・平和・環境の重要性を表現した作品を表彰し、世界平和実現の精神涵養につなげる。

「友愛」「平和」「緑(環境保護)」「人と自然」をテーマに、写真コンクールを行う。方法として、インターネット（携帯電話を含む）が世界的に発達し、社会的コモンセンスを得ていることから、世界を対象にインターネットでの募集・応募も安易に行えるようになった、

これらを踏まえ、植林事業において永年カウンターパートとして協力関係を続けている中華全国青年連合会（中国国際青年交流中心）との関係をこの事業を以って継続し、日中友好を築くこととする。

国籍を問わず応募者を募り、友愛の理念を広める契機となる。

#### 事業実施

- ・中国国内においては、中華全国青年連合会（中国国際青年交流中心）が核とな

- り、インターネットを利用した募集、管理を行う。
- ・日本国内においては、友愛のホームページ上に、コンクール開催を掲示し募集する。
  - ・投票サイトを開設。日本語・中国語・英語にて掲載。
  - ・応募締め切り後、日中両国の審査員によって審査を行う。
  - ・審査終了後、別途日程を定め、中国(北京)において、展示会及び表彰式を行う。

▶**募集テーマ**

「友愛」「平和」「緑(環境保護)」「人と自然」

▶**応募資格**

国籍を問わず、年齢 13 歳以上の者

▶**応募規定**

ひとり 3 作品まで。自作、未発表の作品を  
インターネットで応募すること。紙焼き等の応募は不可

▶**広告・募集方法**

広 告：ホームページ上での広告・ポスター作成（各大学等貼り出し依頼）  
募集方法：日本と中国の双方にそれぞれ応募サイトを設けインターネットによる応募に限っての受付とする

【2022 年度分事業実施に関して】

上記事業概要・実施内容を基に中国における新制度の影響もあり、これらを解決するためには、費用の増大、コンクール運営方法の変更など検討すべき要因があったため、2021 年度より本事業（友愛国際写真コンクール）の実施を見合わせている。

（\*第 18 回通常理事会（2021 年 10 月 16 日土曜日／開催）において協議の上決定。）併せて、カウンターパートである中国国際青年交流中心の実働部門の縮小もあり、事業実施への影響も懸念されることから、新たに「中華社会文化発展基金会」との共催の可能性を視野に、事業実施への道を探ることとなっていた。

（\*第 19 回通常理事会（2022 年 1 月 13 日木曜日／開催）において協議の上決定。）本事業の等級を設けての表彰が、新たに発出された中国国内における規制に触れる可能性が生じたため、実施の見通しが立たないことから、一旦休止とし、状況の変化に応じて再度検討し再開することとする。

（\*第 26 回通常理事会（2022 年 2 月 3 日金曜日／開催）において協議の上決定。）本事業は、言語を超えて友愛の理念を伝える有効な事業であることから、今後も継続していくことを前提に、実施の可能性を探るものである。



## (2)小論文コンテスト

### 事業概要

イギリスの哲学者「フランシス・ベーコン」が「友愛の理念を以て、全人類の融和を」と説いたように、友愛理念の啓発は次世代を担う若者にこそ必要で、世界の平和に資する若者の育成は、必要欠くべからざる事柄である。世界の融和を求めるとき、隔たりとなる要因の一つに言語があり、世界でも特殊な言語である日本語を理解できる人材の育成は、友愛理念の啓発に重要な要素といえる。中国国内にある諸大学の協力を得て友愛についてのレクチャー（講演・ビデオ等）を行い、参加学生より小論文を日本語で募り、優秀作品を表彰する。

### 事業実施

2022 年度事業の対象校として、北京外国語大学及び北京科技大学の二校と話し合いを進め、講演会等の実施（Web を想定）及び「私にとって友愛とは」の小論文提出に向けて準備を進めていたが、中国側の外国の団体との共同事業に対する規制の内容が変更となり、2022 年度内に、その条件をクリアすることが適わなかった。

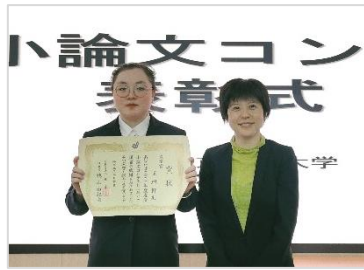
そのため、次年度も引き続き条件を満たすよう書類を準備し、互いに協議書をお互い交換して実施できる道を探っていく方針である。

ちなみに、2021 年度の実施校「北京語言大学」に対する表彰状の送付及び奨学金（賞金）の送付は、2022 年度に行われ、その受賞者に賞状が手渡された報告を受けたので、この紙面を借りて報告としたい。併せて、受賞者の一覧も掲示する。

作品集「私にとって友愛とは」は関係各位に配布し、友愛のホームページ上にも掲載発表している。

位	奨学金(元)	授与	授与数	日本円（1元17円）
友愛賞	5,000	奨学金・賞状・記念品	1名	85,000×1 = 85,000
2位	4,000	奨学金・賞状・記念品	2名	68,000×2 = 136,000
3位	3,000	奨学金・賞状・記念品	3名	51,000×4 = 204,000
入選	————	賞状・記念品	3名	0

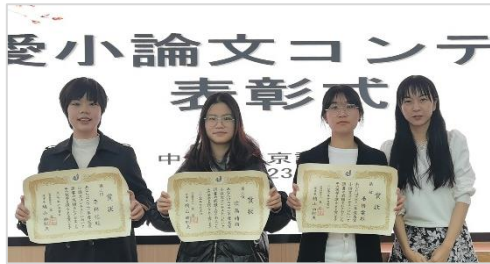
日本円 合計 425,000 円



友愛賞 王琳軒



第2位 鄭樂彤・吳岳珩



第3位 李林忆・歐陽靖・秦倩雯



入選 高方琦・吳意・黃宇雯

受賞者一覧

各賞	氏名	学年	小論文表題
友愛賞	王琳軒	3年生	私の心における窓を開けてくれた友愛
2位	吳岳珩	3年生	絆に込められた友愛 ～私にとって友愛とは～
2位	鄭樂彤	3年生	偉大な愛、小さな愛 ～私にとって友愛とは～
3位	歐陽靖	3年生	私にとって友愛とは
3位	秦倩雯	2年生	私にとって友愛とは
3位	李林忆	3年生	新時代における中日友好 ～友愛とは～
入選	黃宇雯	2年生	私にとって友愛とは
入選	吳意	2年生	友愛とは何か
入選	高方琦	2年生	私にとって友愛とは



### 3、普及啓発活動

(定款 第4条 第1項 第(3)号に基づく事業)

#### 事業概要

機関紙『友愛』の発行(隔月年6回)、ホームページでの活動状況の報告及び情報開示(法令で定められた情報開示を含む)を実施。

併せてリーフレット・書籍等の作成、配布及び友愛理念についてのレクチャー(講演・ビデオメッセージ)など行い、本財団の実施事業、実施目的などを広く伝達し、友愛理念の普及に努める。

これらを以て定款に定めるところの世界平和に資する事業として行う。

#### 事業実施

##### (1)機関紙『友愛』の発行

- ・機関紙『友愛』は、6回発行された。

##### 2022年(令和4年)度機関紙『友愛』発行履歴

2022年5月(第576号) 4,000部発行

- ▶第二十回通常理事会開催 2022年度 事業計画・事業予算を協議・承認  
国際交流事業・表彰事業・普及啓発活動など例年通りに実施  
新型コロナウイルス・国際情勢など難題も多い
- ▶二〇二一年度OEJAB派遣員が綴る派遣員としての意気込み  
私にとって友愛とは  
若者の声を集結 個性あふれる様々な声  
中央大学国際経営学部 四年 奥山千波  
東北大学農学部 四年 計良 衛  
東北大学大学院法学研究科 二年 鈴木健太  
中央大学法学部 四年 北島貴央  
九州大学法学部 三年 後藤穂乃実
- ▶二〇二一年度OEJAB派遣員 事前勉強会開催  
二日間に亘り、友愛について・OEJABについて学ぶ

2022年7月(第577号) 4,000部発行

- ▶第5回定時評議員会開催  
二〇二一年度事業報告・計算書類承認

事業推進に向けて思いを結集

▶友愛ユニオンの会開催

仲間が集い「友愛」のひとつとき 笑い声に満ちて

▶邦夫と私と蝶・・・理事長 鳩山由紀夫

▶OEJAB派遣員募集開始

2022年9月(第578号) 4,000部発行

▶第二十四回通常理事会開催

国際交流事業OEJAB派遣・来日三年ぶりに始動

七〇周年を機に新たな友愛のあり方を検討・活発に意見交換

▶特集 若者の声

友愛小論文コンテスト友愛賞・第二位受賞作品紙上発表

私の心における窓を開けてくれた友愛・・・王琳軒(三年生)

絆に込められた友愛～私にとって「友愛」とは～・・・吳岳珩(三年生)

偉大な愛、小さな愛～私にとって友愛とは～・・・鄭楽彤(三年生)

友愛ユニオンメンバー 活動報告

留学日記 私の見たヨーロッパの現状(前編)

・・・友愛ユニオンメンバー/2019年度派遣員 森崎桃子

手作り新聞『大志抱きすぎ少年』紙上公開

全国の農家を廻って仕事をした報告書です～是非ご覧ください

・・・友愛ユニオンメンバー/2021年度派遣員 計良 衛

▶国際交流事業/OEJAB派遣

二〇二二年度 第一陣 元気に出発

二〇二〇年度チームと二〇二一年度チームの混成五名の派遣団

▶鳩山邦夫前理事長のコレクション展示

蝶—魅惑の昆虫— 「ハトヤマミドリシジミ」などの稀少な標本も

2022年11月(第579号) 4,000部発行

▶OEJABから要人二名来日

友愛との協力体制について協議

広島市訪問・松井一實市長と面談・慰霊碑に献花など平和活動

▶2022年度OEJAB派遣員からのレポート

見て・聞いて・考えて・味わった日々を写真と共に報告します!

築きあげること・・・東北大学四年 舘 宏輔

ところ変われば・・・東京大学四年 浦 彩人

街に咲く花々・・・東北大学卒 計良 衛

オーストリアが私に教えてくれたこと・・・東京女子大学卒 手塚七彩

初めての欧州、初めてオーストリア・・・東北大学卒 鈴木健太

▶留学日記 私の見たヨーロッパの現状(後編)

・・・友愛ユニオンメンバー/2019年度派遣員 森崎桃子

2023年1月(第580号) 4,000部発行

▶新春巻頭言

今こそ友愛精神・・・理事長 鳩山由紀夫

▶友愛国際交流事業

担当理事が語る現状と展望・更なる発展を目指して!

友愛小論文コンテストー若者の言葉から学ぶー・・・攪上哲夫

ミャンマー農業発展支援 農業指導者育成事業の現状と今後の展望・・・井田安信  
～エヤップとの交流事業・関係深化の先にあるもの～二〇五〇年友愛の旅

・・・西川伸起

▶2022年度OEJAB派遣員事前研修会

友愛ユニオン勉強会・友愛ユニオン懇親会 賑やかに開催

2023年3月(第581号) 4,000部発行

▶第二十六回通常理事会開催

新たな年度に向けて闊達に意見交換 友愛ユニオンメンバー傍聴参加

▶二〇二二年度OEJAB派遣第二陣

派遣員が語る「期待と抱負」一挙掲載

二年越し、三年越しの参加者も派遣実現の喜びを

先輩後輩入り交じっての総勢十二名

- ・「待っていた三年間」に学んだ友愛を基に・・・東京医科歯科大学歯学部5年 小倉佑太
- ・応募時からの変化と変わらない思い・・・九州大学法学部卒業 田島桃子
- ・三年越しのオーストリア派遣に向けて・・・東京医科歯科大学医学部6年 龍 舞香
- ・二つの目標を掲げて・・・東京大学大学院工業系研究科卒業 佐野翔子
- ・異文化との出会いから生まれる新たな視点・・・名古屋大学情報学部4年 田内和久ラザルス
- ・道標を掴む一歩となれ・・・東北大学医学部4年 女鹿笑奈
- ・自分に何ができるか・・・東京大学教養学部2年 堆 美優
- ・交流を通じて見識を深める・・・東北大学工学部4年 藤田脩椰
- ・自らの課題を解く鍵を見つけたい・・・東京医科歯科大学医学部3年 弟子丸 香歩
- ・友愛OEJAB派遣員としての抱負・・・東京外国語大学国際社会学部4年 ニケライ ベッヘナーゼ

◆ 送 付 先

会員・関係各位団体等 : 1,400箇所へ郵送

また、関係各所にて配布を実施。

海外関係先へ送付、配布依頼(中国国際青年交流中心・北京理工大学等)。

## (2)「友愛ユニオンの会」開催

2022年12月17日(土)午後16:00~18:00

国際交流事業の一環として実施している派遣事業(OEJAB・アジア・アフリカユースフェスティバル・一带一路世界大会等)の経験者で構成される「友愛ユニオンの会」が、開催された。この会は、国際交流事業及び普及啓発活動の一環として活動を行っており、友愛の事業についての普及宣伝・友愛の事業参加への誘いなどを発信している。派遣員としての自らの体験を基に、友愛の事業への取り組み、また友愛理解のための活動などを積極的に行っている。

当日は、各人が近況報告、今後の友愛活動についてなどを語り合い、情報交換と親睦を深めた。前回の派遣員は、既に社会人になっている者も混じる。鳩山由紀夫理事長を囲んで、楽しく有意義な時間を過ごした。

### —出席者—

鳩山由紀夫理事長

西川伸起(公益財団法人友愛 理事 OEJAB 受入・派遣事業担当)

戸澤英典 東北大学教授(公益財団法人友愛 評議員)

河口ハルトマンミヒャエラ(公益財団法人 友愛 通訳)

井田安信(公益財団法人友愛 理事 ミャンマー農業研修生受入事業担当)

攪上哲夫(公益財団法人友愛 理事 小論文コンテスト事業担当)

羽中田元美(公益財団法人友愛 事務局長)

2017年度派遣員 林 有里紗

2019年度派遣員 後藤大智・木本康瑛・吉田大志・森崎桃子

2020年度派遣員 小倉佑太・龍 舞香・浦 彩人・手塚七彩・田島桃子

2021年度派遣員 鈴木健太・計良 衛・

2022年度派遣員 藤田脩椰・田内和久ラザルス・弟子丸香歩・女鹿笑奈  
堆 美優・ニケライベッヘナーゼ



鳩山由紀夫理事長を囲んで、全員が笑顔で勢揃い。  
この力とエネルギーを結集して友愛活動を推進して行きましょう!

なお当日の様子を写真で綴った小冊子『One Day』を作り、参加者及び関係各位に配布した。



### (3) ホームページの公開・更新

- ① 随時ホームページを更新した。写真を多用し、「見て解る」活動内容の掲示に努めた。
- ② 友愛会員登録はホームページから可能に設定してある。
- ③ 機関紙『友愛』バックナンバー（第 1 号～最新号[581号]）の掲示が完了しており、『友愛』発行毎に更新が行われている。
- ④ QR コードを設定し、機関紙『友愛』紙上など機会をみて掲示。一人でも多くの人に手軽にスマートフォンでホームページにアクセスできるよう普及に努めた。
- ⑤ 問い合わせ専用ページを作成し、メールでの問い合わせ連絡、寄稿など、利用しやすく改良した。



### (4) 創立 70 周年記念事業に向けての準備

- ① アーカイブ資料作成 …… 記念誌（記録としての年表を軸に、ホームページ資料・機関紙『友愛』バックナンバー・40 周年記念誌などにリンクした情報を電磁的に編集し作成する）作成へ向けての資料作り及び打ち合わせをすすめた。
- ② 訴え掛ける記録としての「動画資料」作成 …… 創立者鳩山一郎先生の創立当時（於：日比谷公会堂）など、友愛のこれまでが視覚的に解る資料として DVD を作成するための構成・編集などの打ち合わせをすすめた。

### (5) 小冊子等の作成・配布

『私にとって友愛とは』バックナンバーの活用  
表彰事業「友愛小論文コンテスト」に寄せられた作品『私にとって友愛とは』を年度別にまとめた作品集であるが、「友愛を各人の言葉で伝える」という役割をも果たしている。



表紙

裏表紙

日本語版は国内で、作品を綴った同世代（大学生・高校生）に折をみて配布し、中国語版が作成できた年度は、中国国内で交流した方々に配布し、友愛理解の一助としている。



## IV 業務執行

### 1、理事会開催

#### 第21回 臨時理事会(書面による決議)

一般社団法人及び一般財団法人に関する法律、第96条及び本財団定款第46条に基づき、協議事項に関して書面により決議をした

発送日：2022年4月13日(水)

返信日付：2022年4月20日(水)

議事：第一号議案・井上和子理事よりの使途指定寄付の受け入れに関して  
第二号議案・第一号議案が是の場合、送金の実施に関して

#### 第22回 通常理事会

開催日：2022年5月28日(土) 午前10時～

場所：友愛サロン

議事：職務執行報告：経理・庶務関係業務及び対外提出・来状書類に関して  
実施事業関連：資産運用に関する現状報告、小論文コンテストに関して、  
ミャンマー農業支援・指導者育成事業について、OEJ  
AB派遣・受入事業について、友愛創立70周年記念事業(記念誌作成等)に関して、機関紙「友愛」5月号(576号)発行

協議事項：(1)2021年度事業報告について  
(2)2021年度計算書類について  
(3)評議員会の開催について

#### 第23回 通常理事会

開催日：2022年6月11日(土) 午前10時～

場所：友愛サロン

議事：職務執行報告：経理・庶務関係業務及び対外提出・来状書類に関して  
実施事業関連：小論文コンテストに関して、OEJABへの派遣・受入  
事業について

協議事項：(1)友愛小論文コンテストの選考委員会答申について

#### 第24回 通常理事会

開催日：2022年8月22日(月) 午後18時～

場所：友愛サロン

議事：職務執行報告：経理・庶務関係業務及び対外提出・来状書類に関して



実施事業関連：小論文コンテストに関して、OEJABへの派遣・受入事業について

協議事項：(1)OEJABとのプロジェクトについて  
(2)70周年を経た後の、公益財団法人友愛の方向性について

## 第25回 通常理事会

開催日：2022年11月11日（金） 午後18時～

場所：友愛サロン

議事：職務執行報告：経理・庶務関係業務及び対外提出・来状書類に関して

実施事業関連：小論文コンテストに関して、OEJABへの派遣・受入事業について、ミャンマー農業指導者育成事業について、70周年記念誌などについて

協議事項：(1)2022年度OEJAB派遣員の承認  
(2)「平和のメッセンジャー育成事業（仮題）」発足について

## 第26回 通常理事会

開催日：2023年2月3日（金） 午後18時～

場所：友愛サロン

議事：職務執行報告：経理・庶務関係業務及び対外提出・来状書類に関して

実施事業関連：小論文コンテストに関して、OEJABへの派遣・受入事業について、ミャンマー農業指導者育成事業について、友愛国際写真コンクールについて、70周年記念誌などについて

協議事項：(1)創立70周年記念事業に関して  
・記念会の開催に関して  
・記念品の配布に関して  
・70周年記念「友愛の歌」（仮題）作成に関して  
・マスコットキャラクターなどの作成に関して  
(2)2023年度事業計画及び事業予算に関して

## 第27回 通常理事会

開催日：2023年3月22日（水） 午後18時～

場所：友愛サロン

議事：職務執行報告：経理・庶務関係業務及び対外提出・来状書類に関して

実施事業関連：小論文コンテストに関して、OEJABへの派遣・受入事業について、ミャンマー農業指導者育成事業について、70周年記念誌などについて

- 協議事項：(1) 創立 70 周年記念事業に関して
- ・ 記念式典の開催に関して
  - ・ 記念品の配布に関して
  - ・ 70 周年記念楽曲作成に関して
- (2) 2023 年度事業計画書
- (3) 2023 年度事業予算書

## 2、評議員会開催

### 第 5 回 定時評議員会

開催日：2022 年 6 月 11 日（土）午前 11 時～

場 所：友愛サロン

議 事：業務執行報告：経理・庶務関係業務及び対外提出・来状書類に関して  
代表理事および業務執行理事の職務執行報告

- (1) 小論文コンテストに関して
- (2) ミャンマー農業支援・指導者育成事業について
- (3) OEJABへの派遣・受入事業について
- (4) 友愛創立 70 周年記念事業（記念誌作成等）に関して
- (5) 機関紙「友愛」5月号（第 576 号）発行

協議事項

- (1) 2021 年度公益財団法人友愛の事業報告に関して
- (2) 2021 年度公益財団法人友愛の計算書類に関して

## 3、担当理事打ち合わせ会（運営委員会）開催

下記日程・時間の通り、事業を担当する理事が集まり、事業の実施について話し合う会が開かれた。

それぞれの事業の現状報告・問題提起・今後の方針など情報を共有し、事業を実行推進していくための話し合いが行われた。

なお、「担当理事打ち合わせ会」は、「運営委員会」として取り扱われることが、第 20 回通常理事会（2022 年 3 月 26 日開催）において承認された。

【担当理事打ち合わせ会メンバー】

芳賀大輔理事／70 周年記念事業担当

井田安信理事／ミャンマー農業支援・指導者育成事業担当

西川伸起理事／OEJAB 受入・派遣事業担当

攪上哲夫理事／友愛小論文コンテスト担当

南栞幸信理事／友愛国際写真コンクール担当

【開催日・時間】

2022 年 6 月 11 日（土）13：00～15：00

2022 年 10 月 31 日（月）18：00～20：00

2023 年 1 月 23 日（月）18：00～20：00

2023 年 3 月 6 日（月）18：00～20：00

## 4、あり方検討委員会開催

公益財団法人友愛の将来を見据え、事業のあり方、ガバナンスの徹底など多岐にわたり意見を求める場として、「あり方検討委員会」を設置（第 13 回臨時理事会決議）。特に次代を担う若者の参加を求め、これからの財団構築に資する人材、意見を見出す機会とする。

### 第 5 回（意見交換会として開催）

開催日：2022 年 12 月 17 日（土）午後 15 時 00 分～16 時 00 分

場 所：友愛サロン

出席者

鳩山由紀夫（公益財団法人友愛 理事長）

戸澤英典 東北大学教授（公益財団法人友愛 評議員）

西川伸起 （公益財団法人友愛 理事）

井田安信 （公益財団法人友愛 理事）

河口ハルトマン ミヒャエラ（公益財団法人友愛 通訳）

羽中田元美（公益財団法人友愛 事務局長）

2017 年度派遣員 林 有里紗

2019 年度派遣員 後藤大智・森崎桃子・木本康瑛・吉田大志

2020 年度派遣員 小倉佑太・浦 彩人・田島桃子・龍 舞香・手塚七彩

2021 年度派遣員 鈴木健太・計良 衛

2022 年度派遣員 藤田脩椰・田内和久ラザルス・弟子丸香歩

女鹿笑奈・堆 美優・ニケライ ベッヘナーゼ

